

春の褒章と叙勲

平成 21 年度の春の褒章及び叙勲受章者が発表され、本学関係の受章者は次の方々です。

中 嶋 英 雄 (産 業 科 学 研 究 所 教 授)	紫 綬 褒 章
柴 田 弘 文 (名 譽 教 授)	瑞 宝 中 綬 章
高 田 敏 (名 譽 教 授)	瑞 宝 中 綬 章
田 川 邦 夫 (名 譽 教 授)	瑞 宝 中 綬 章
田 中 武 彦 (名 譽 教 授)	瑞 宝 中 綬 章
小 水 満 (元 医 学 部 附 属 病 院 医 療 技 術 部 長)	瑞 宝 双 光 章
吉 田 博 次 (元 医 学 部 附 属 病 院 事 務 部 長)	瑞 宝 双 光 章
中 尾 由 紀 子 (元 医 学 部 附 属 病 院 副 看 護 部 長)	瑞 宝 単 光 章

(総務部人事課)

岸本忠三 元総長、平野俊夫医学系研究科長「クラフォード賞」受賞

生命機能研究科の岸本忠三寄附講座教授（元大阪大学総長）、平野俊夫医学系研究科長・医学部長（生命機能研究科・医学系研究科・免疫フロンティア研究センター教授）が、日本人として初めてクラフォード賞を受賞されました。

“インターロイキンの発見、それらの特性決定と炎症性疾患における役割の探求”という基礎的研究が関節リウマチなどの炎症性疾患に対する画期的な治療薬開発への道を開いた事が評価されての受賞で、アメリカコロラド大学デナレロ教授との共同受賞です。

クラフォード賞は、人工腎臓を発明したホルガー・クラフォードとその妻によって創設されたクラフォード財団がスポンサーとなり、ノーベル賞選考機関のスウェーデン王立科学アカデミーが 1982 年より毎年、世界的に優れた業績を 1 件ずつ表彰している賞です。天文学・数学、地球科学、生物学の 3 分野から毎年 1 分野ずつ順番に選ばれますが、関節炎分野のみは、画期的な研究成果があった年のみ表彰されることになっており、2009 年度は関節炎分野からの選出になりました。

授賞式を含めた一連の行事はクラフォードディとして、5 月 11 日(月)から 13 日(水)までの 3 日間、スウェーデンのストックホルムとクラフォード財団発祥の地ルンドで開催されました。王立科学アカデミーでの授賞式、各受賞者の記念講演、国王・王妃ご臨席の晩餐会等が開催された他、カロリンスカ研究所ノーベル講堂での学術講演会、ルンド大学における一般向け講義等多くの催し開催され、スウェーデン国王、王妃ご臨席のもと開催された授賞式では、カール 16 世グスタフ国王から直々に受賞者にメダルと賞状が手渡されました。



岸本元総長



平野研究科長



(医学系研究科・医学部、生命機能研究科)